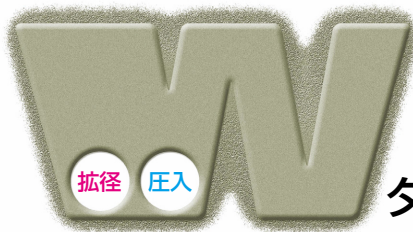




Wタイプ継手

Wタイプ継手は架橋ポリエチレン管専用です。ポリブテン管には使用できません。



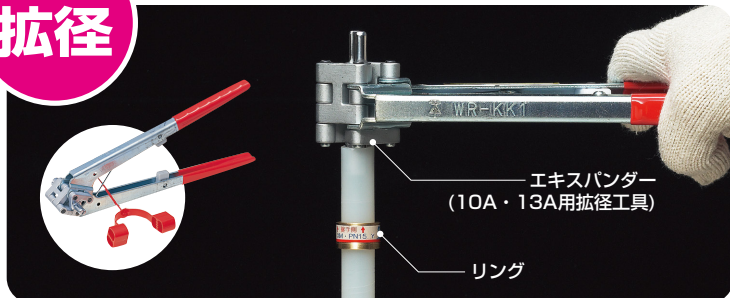
拡張して圧入、**安心・確実**な継手です。

タイプ継手

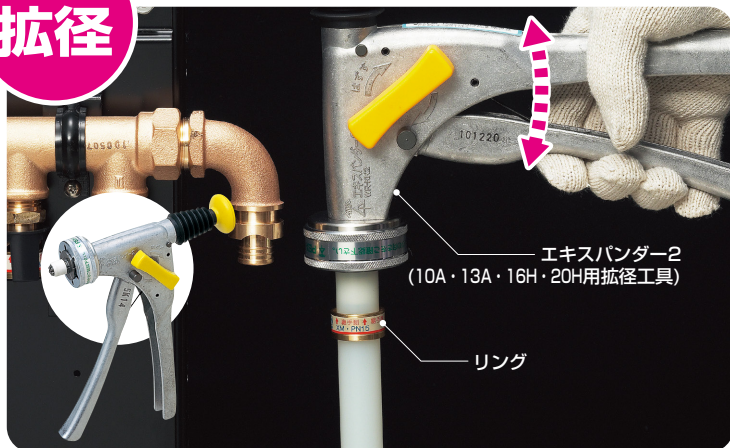
パッキン、Oリングは使用しません。

パッキン、Oリングの劣化や傷による漏水の心配が無い為、長期に渡っても信頼性が高い継手です。

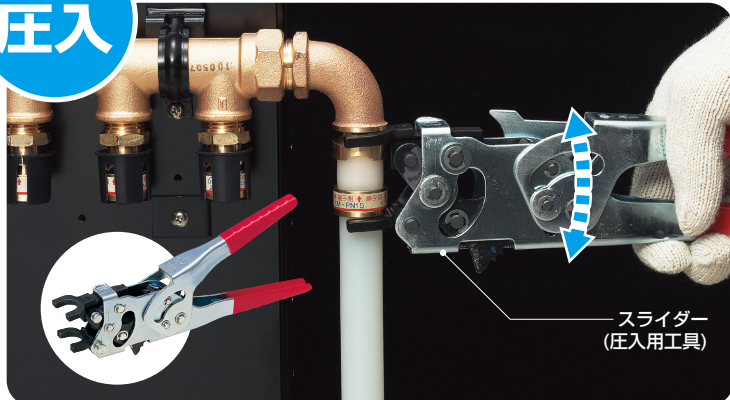
10A・13A用
拡張



4サイズ共通
拡張



※1
4サイズ共通
圧入



※1. スライダーは10A・13A用クランプ付き。16H・20Hの圧入には各々別売の専用クランプが必要です。

エキスパンダー・スライダーは**716・717**頁へ

●管の内径を拡げるから継手の内径が広くなり、水の流量面積が増え、流れがよりスムーズになりました。

●施工中はもちろん、施工後でも架橋ポリエチレン管の差し込みが目視できる確認窓付です。

●圧入による堅牢な固定、広い面積でシッカリ管を挟み込みます。

●リングは、拡張作業時に架橋ポリエチレン管を滑り落ちません。

Wタイプ継手

- 排水関連
- 防火部材
- 給水給湯リフォーム
- ガス灯油リフォーム
- ガス灯油配管関連
- 空調関連
- エアコン関連
- 埋設関連
- インサート
- 工具
- 樹脂管
- 給水給湯関連
- 付属品
- 696
- 水栓ボックス
- 浴室部材
- 融雪・暖房
- その他

水位上昇中

ズレ落ち防止



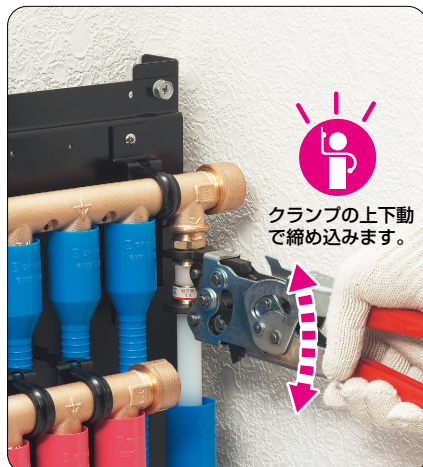
リングは架橋ポリエチレン管の任意の位置に止められます。拡張作業時に架橋ポリエチレン管を垂直に立ててもリングは下に滑り落ちません。

目視確認窓付



確認窓で施工中の架橋ポリエチレン管の差し込み量、施工後の接続完了チェックが目視で確認できます。確認窓から架橋ポリエチレン管が見えていれば接続OKです。

狭所でも作業が簡単



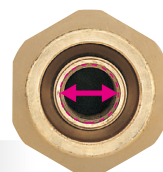
圧入用工具はクランプの上下動で締め込みます。パイプレンチのように回して締め込んでいく必要がないため、ヘッダー設置箇所等の狭所や隅角でも工具を握るスペースがあれば接続作業が行えます。

流路面積大幅アップ

架橋ポリエチレン管を拡張するため、継手の内径を拡くことができ、水の流路面積を従来より大幅に増やすことができました。

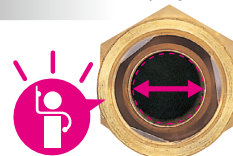
流路面積の従来比
 サイズ10A 200%
 サイズ13A 160%
 サイズ16H 135%
 サイズ20H 130%

継手種類	流路面積 (内径)			
	10A	13A	16H	20H
従来継手	28.27mm ² (φ6.0mm)	63.62mm ² (φ9.0mm)	132.73mm ² (φ13.0mm)	226.98mm ² (φ17.0mm)
Wタイプ継手 (銅製)	56.75mm ² (φ8.5mm)	103.87mm ² (φ11.5mm)	181.46mm ² (φ15.2mm)	298.65mm ² (φ19.5mm)



従来継手

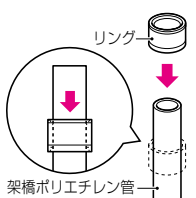
Wタイプ



圧力損失が減少、水の流れがよりスムーズになりました。

Wタイプ継手の接続方法

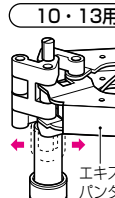
1. リングの取り付け



架橋ポリエチレン管に、スリ傷、切り傷等の無いことを確認後、管軸方向に対し直角に切断し、リングを通します。

※リングには方向性があります。向きを間違えないようご注意ください。

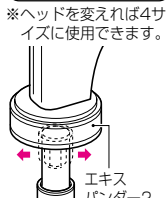
2. 管の拡張



エキスパンダー(2)で架橋ポリエチレン管の管端をゆっくり拡張します。

※エキスパンダー(10・13用)を使用する場合は、管端部の拡張位置をスラしながら、架橋ポリエチレン管を均一に拡張してください。

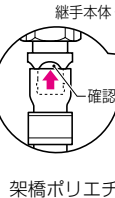
3. 管の挿入



架橋ポリエチレン管を継手本体に差し込みます。

※管端を確認窓の中心まで差し込んでください。

4. リングの圧入



スライダークランプで継手本体とリングを挟み、リングが継手本体に当たるまでスライダーで押し上げ圧入します。

※施工後、確認窓から架橋ポリエチレン管が見えることを確認してください。

注意

- 架橋ポリエチレン管の拡張はゆっくり行ってください。
- ※ 1回目の拡張や気温が低い場合(5℃以下)は特に注意が必要です。架橋ポリエチレン管に傷が付くと水漏れの原因となります。
- 架橋ポリエチレン管の取り付けは確実に行ってください。
- ※ 差し込み不足・圧入不足は水漏れの原因となります。